

2020年 東京オリンピック・ パラリンピック後の 日本

日本でオリンピック・パラリンピックが開催されるまで、3年を切りました。五輪開催で日本経済は活性化し、華やかなるイメージが強くなっています。その一方で、少子高齢化を起因とした「2020年問題」に加え、東京オリンピック後の景気後退が懸念されています。特に、東京オリンピックの恩恵が少なく、都市部に比べて人口減少率の大きい地方圏では、今国をあげて取り組んでいる国際的に注目が集まる東京オリンピックという機会を活用して、地方創生戦略に結びつけていくことが重要ではないかと思えます。

今回の特集では、ポスト2020を踏まえ、今後の地方創生のヒントとすべく「2020年東京オリンピック・パラリンピック後の日本」として、3本の論文を取りあげました。

2020年東京オリンピック・
パラリンピックを契機とした
地方創生への取り組み

三崎 富査雄

スポーツ都市戦略

～ポスト2020に向けたまちづくり

原田 宗彦

地域に定着する、
これからの
インバウンドビジネス

河本 敏夫

01

02

03